



平成 29 年 4 月 18 日
日本下水道事業団

B-DASH プロジェクトに JS が共同提案した 3 事業が採択されました

— 創エネ、省エネ・低炭素化、処理能力向上を実現 —

国土交通省が平成 29 年度に実施する下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）※において、日本下水道事業団（JS）が地方公共団体や大学、民間企業と共同で提案していた下記の 3 事業が採択されました。

JS では、これらの実証事業の実施を通じて、下水道資源・エネルギーの利活用や、下水道施設の省エネ・低炭素化、機能維持・向上など、様々な課題に対応した新技術の実用化を積極的に進め、下水道ソリューションパートナーとして、地方公共団体のニーズに応える技術の開発・実用化を促進していきます。

(1) 高効率消化システムによる地産地消エネルギー活用技術の実用化に関する実証事業

- ・事業実施者： 三菱化工機（株）、九州大学、日本下水道事業団、唐津市 共同研究体
- ・実証フィールド： 佐賀県唐津市浄水センター
- ・事業概要： 生ごみ等の未利用バイオマスの活用、無動力の消化槽攪拌装置、バイオガス発生量を増加させる可溶化装置、高い発電効率を有する燃料電池を組み合わせた高効率消化システムについて、処理性能や、エネルギー回収率の向上効果等を実証する。

(2) 温室効果ガス削減を考慮した発電型汚泥焼却技術の実用化に関する実証事業

- ・事業実施者： JFE エンジニアリング（株）、日本下水道事業団、川崎市 共同研究体
- ・実証フィールド： 川崎市入江崎総合スラッジセンター
- ・事業概要： 汚泥焼却設備からの未利用廃熱を活用した高効率発電技術と、既存の汚泥焼却設備にも適用可能な局所攪拌空気吹込み技術の組み合わせにより、電力の完全自立や大幅な温室効果ガス排出量削減効果等が得られることを実証する。

(3) 最終沈殿池の処理能力向上技術実証事業

- ・事業実施者：メタウォーター株式会社、日本下水道事業団、松本市 共同研究体
- ・実証フィールド：長野県松本市両島浄化センター
- ・事業概要：最終沈殿池の増設を行わずに、既存の最終沈殿池躯体を利用して、ろ過部の設置により低コストで処理能力を量的あるいは質的に向上させる技術を実証するとともに、提案技術の適用可否の検討等に活用できる、新たな汚泥管理手法を確立する。

※下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト：Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project）とは、新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業におけるコスト縮減や再生可能エネルギー創出等を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するため、国土交通省が実施しているものです。なお、B-DASH プロジェクトは、国土交通省国土技術政策総合研究所の委託研究として実施されます。

（問い合わせ先）

技術戦略部 上席調査役

橋本 敏一

TEL : 03-6361-7844

FAX : 03-5805-1828

E-mail : Hashimotot@jswa. go. jp